

中部普及だより



大阪市、守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市

「八尾若ごぼう」の季節です！～生産とPRの取組み～

今年も早春の味覚、八尾若ごぼうが旬を迎えています。八尾若ごぼうは、9月に種をまき、伸びた葉柄を冬に刈取または寒さに当て枯らすことにより、早春に新しく伸びる柔らかくて香り豊かな株を収穫します。主にハウス栽培が2月に、露地栽培が3月に出荷されます。今回は今が旬の八尾若ごぼうに関する取組みをご紹介します。

●若ごぼうに使用できる農薬の拡大に向けて

八尾若ごぼうは、使用可能な登録農薬が少ないことから、農家は限られた農薬しか使用できず、病害虫の防除には苦労しています。農の普及課では、昨年度より、(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所とJA大阪中河内、農薬メーカーと共同で、アブラムシ類を対象に、若ごぼう（農薬登録上は「葉ごぼう」）で使用できる農薬の種類を拡大するため、現地試験を実施しています。試験の成績が問題なければ、次作の若ごぼう栽培からアブラムシ類対策で使える農薬が1種類増える予定です。



▲農薬現地試験の様子(1/12)

●地域ブランド「八尾若ごぼう」のPR活動

平成 25 年の地域団体商標登録を機会として、「八尾若ごぼう」を地域ブランドとして広く発信するため、八尾市農業啓発推進協議会（市、JA、府）（以下「啓発協」）が主体となりPR活動を強化しています。

今年度は公用車等貼付用PRマグネットシートの制作に取り組みました。デザインをクリエイターに募集し、10点の応募作から1点が採用されました。（右写真）

このデザインは、キャラクター等と共に「八尾若ごぼう」にちなんだ20種類の異なるメッセージが書かれています。背景色も通常は緑ですが、ピンクの「ラッキーシート」が少数入っています。こうした、探したくなる、話題にしたくなる工夫が採用の決め手になりました。

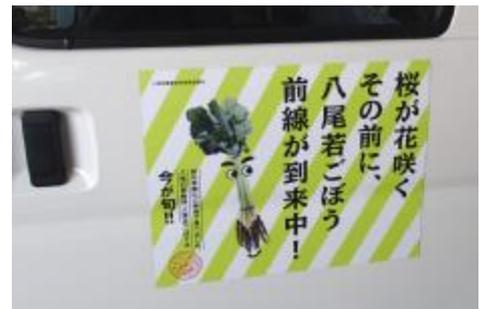
八尾市、JA大阪中河内、JAグリーン大阪、当事務所の計71台の車がこのシートを貼り「八尾若ごぼう」を旬の時期にPRしています。

飲食店や消費者へのPRイベントも引き続き行っています。今年度が2回目となる大阪市内の飲食店で「八尾若ごぼう」のメニュー提供を目的とした「飲食店向けの試食会」を2月16日京阪京橋商店街の店舗で開催し、14店舗が参加しました。

さらに、昨年に引き続き大阪市営地下鉄と連携した谷町線大日駅（2月）や八尾南駅（3月）のイベントで「八尾若ごぼう」をPR販売します。

3月12日には、「第1回八尾若ごぼう品評会」をアリオ八尾のレッドコートで開催します。品評会では審査員その他、出品者、消費者も投票を行い、八尾野菜の直売会、野菜ソムリエによるトークイベント、八尾若ごぼうの試食会も同時開催し、もずやんも来場予定です。

当事務所では市やJA等関係機関としっかりタッグを組み、生産面の強化とPR活動の両輪で今後とも「八尾若ごぼう」を振興していきます。



エコ農産物の生産拡大に向けた展示ほ

冬キャベツ・交野市

冬キャベツの栽培は、通常、速効的な化成肥料主体の施肥体系で定植後から結球前まで肥料を効かせ、高温のため虫害が発生しやすい栽培前半は殺虫剤での集中的な防除が行われています。そのため、大阪エコ農産物栽培基準にあわせて化学肥料や農薬を削減すると、収量や品質が低下しやすくなります。そこで、当事務所ではこれらの点に配慮した施肥及び防除の体系を以下のように組み立て、栽培展示ほを交野市に設置しました。

【肥料】元肥を有機質肥料、追肥は低温下でも速効性のある化成肥料とする施肥体系

日付	作業	肥料名 肥料成分(チッソ-リン酸-カリ)	使用量	化学肥料 由来チッソ	化学肥料 由来リン酸
9/6	元肥	有機アグレット 674 6%-7%-4% 全て有機肥料	340kg/10a	0kg/10a	0kg/10a
9/21	追肥	燐加安 F886 18%-8%-16% 全て化学肥料	110kg/10a	19.8kg/10a	8.8kg/10a

計 19.8kg/10a 8.8kg/10a
大阪エコ農産物栽培基準（上限値） 20.0kg/10a 15.5kg/10a

【農薬】定植前（育苗期）に長期間効果が持続する殺虫剤（○）を使用、定植後は化学農薬以外の殺虫剤（◎）を取り入れた防除体系

日付	作業	農薬名	成分数※
8/9	セルトレイは種、殺虫剤	○プリンス粒剤	1
9/5	殺虫剤	○ペリマーク SC	1
9/7	除草剤	トレファノサイド乳剤	1
9/8	定植		
10/4	殺虫剤	アフーム乳剤	1
10/24	殺虫剤	◎スピノエース顆粒水和剤	0
	殺菌剤	ロブラール水和剤	1

※
大阪エコ農産物
認証制度による
カウント

成分数計 5成分
大阪エコ農産物栽培基準（上限値） 8成分

12月5日より収穫を開始し、1玉あたりの重量は平均2.0kg、病虫害の被害もほとんど発生がなく、順調な生育となりました。（右写真：1月6日の展示ほ場）



今後は、キャベツ以外にも品目を拡大して、エコ農産物基準での栽培実証を進めていく予定です。

おめでとうございます

カタシモワインフード(株)代表取締役高井利洋さん(柏原市)

柏原市のワイナリー、カタシモワインフード(株)代表取締役の高井利洋さんが、1月22日、大阪府農業生産・経営近代化優秀農業者等選奨事業において大阪府知事賞を受賞されました。

表彰活動の内容は、『地域資源（ぶどう・ワイン・歴史）を活かしたつながりで経営革新～ぶどう産地を守り、地域とともに実践してきたこと』です。おめでとうございます！



大阪府中部農と緑の総合事務所 〒581-0005 八尾市荘内町 2-1-36 中河内府民センタービル内
TEL 072(994)1515 FAX 072(991)8281

ホームページ(PC・スマートフォン対応) <http://www.pref.osaka.lg.jp/chibunm/> (右 QR コード)

この印刷物は2800部作成し、一部あたりの単価は6.48円です。

